

## 聖霊降臨節第2主日礼拝 説教「人間をとる漁師に」要約

### ルカによる福音書 第5章1～11節

日本キリスト教団茅ヶ崎堤伝道所

2024年10月13日

#### ① 聖書を知る

今朝の聖書箇所の話は、マタイとマルコ福音書にも記されています。ルカ福音書がユニークなのは、この出来事がガリラヤ湖での豊漁の出来事を通して、ペトロを中心に描いている所です。ゲネサレト湖(1)とは、ガリラヤ湖のことです。湖畔に立っておられるイエスから「神の言葉」を聞こうとして群衆が押し寄せていました。イエスはシモン（後のペトロ）に沖に漕ぎ出して漁をするようにお命じになります。ベテランの漁師は、日が高くなると魚はとれないことを経験で知っています。シモンもまずは「私たちは、夜通し苦労しましたが、何もとれませんでした」(5)と言ってから、「しかし、あなたの言葉の上に、私は網を降ろしてみましよう」(直訳)と応えました。前半の「私たち」が、後半では「私」に変えられています。主語が変わることで、網を降ろそうと決断したシモンの心が示されています。この決断の基礎となったのはイエスの言葉です。結果は網が破れそうになるほどの大漁でした。これを見たシモンがイエスに「先生」(5)ではなく「主よ」(8)と呼びかけています。

#### ② 「もう一度、漁をきなさい」

「イエス様！ 私たちに神様の話を聞かせて下さい！」ゲネサレトの湖の岸辺に、イエス様を取り囲むように大勢の人が押し寄せてきました。そこでイエス様は岸辺にある舟を見つけて、そのうちの一つに乗り込み、「よければ、岸から少し漕ぎ出してほしい」と漁師に言われました。「この舟は私のものです。私はシモンといいます。以前あなたに、母を癒して頂いた者です」そう言い乍ら、シモンが岸辺を見ると沢山の人がこの人を見つめています。シモンはビックリし乍ら、舟を岸から少し漕ぎ出しました。イエス様は腰を下ろして舟から人々に向かって話をされました。話が終わると、イエス様は岸に戻ろうとしたシモンに向かって言われました。「そうではない、シモン。もう一度、沖に漕ぎ出して、漁をきなさい」。「先生、今、『もう一度、漁をきなさい』っておっしゃいましたね？ 私たちは昨晚、夜通し漁をして、一匹の魚もとれなかったんですよ。それに、こんな昼間に、魚がとれるはずがありません。でも、あなた様がそうおっしゃるなら、もう一度、やってみましよう！」。

#### ③ 人間をとる漁師に

シモンと、仲間の二人の漁師たちも、自分たちの舟を沖に漕ぎ出して、網を投げました。するとしばらくして、シモンの大きな声がしました。「おーい、早く来てくれ！手を貸してくれ、魚がいっぱい網が破れそうだ。とても引き上げられない！」仲間たちが近づいて、力を合わせて、どうにか網を引き上げました。あまりにも魚がいっぱいにとれたので、舟は沈みそうになりました。シモンたちは何とか岸に戻りました。魚でいっぱいになった舟を見て、シモン・ペトロは、もうビックリ！シモンはイエス様の足もとにひれ伏して言いました。「主よ、わたしから離れて下さい。わたしは罪深い者なのです」。シモンは自分の力ではなく、ただ、イエス様が持っている神の力によって、魚がたくさんとれたこと、神の力をまったく分かっていなかった自分の間違いを知りました。仲間のヤコブとヨハネもイエス様の前にひざまずきました。するとイエス様は、微笑んでシモンに言われました。「恐れることはない。これからあなたは人間をとる漁師になるのだよ」。喜んだシモンは、舟や網や家族を捨てて、イエス様に従いました。イエス様の訪問から導かれた、イエス様とペトロのかけがえのない出会いは、大漁よりも、大きな神の恵みであることを、物語っています。